

平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	医学一般(Introduction to Medicine)	授業コード	E041901
担当教員名	佐保 嘉代子		
配当学年	カリキュラムにより異なります。	開講期	前期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件			
受講心得			
教科書	社会福祉士養成講座 人体の構造と機能及び疾病 ー医学一般ー		
参考文献及び指定図書			
関連科目			

授業の目的	病気のメカニズムを理解するために、健康な状態の身体の構造と心身の機能を知ることが大切であり、それを理解したうえで、疾病の概要、症状、予防、障害の概要を学び、社会福祉士として、医療従事者、介護職と連携し、チームで課題を解決する方法を身につける。また、国の健康政策を学び、国民の責任について考え、疾病の予防、健康づくり、地域での助け合いなど社会福祉士の役割について習得することを目的とする。
授業の概要	私たち人間が、胎児期から成長過程を経て、高齢期に至るまでの共通性を学び、身体の構造と心身の機能を理解したうえで、疾病の概要、障害の概要、リハビリテーションの概要を学習する。健康のとらえ方と国の政策、健康づくり対策について理解し、社会福祉士としての役割を習得する。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週： .オリエンテーション・・・授業科目の位置づけと学習の意義を理解する。 人の成長・発達(1)・・・身体と精神の成長・発達(1)を理解する。 ①オリエンテーション②身体と精神の成長・発達について(乳幼児期から成年期まで)	
第2週： 人の成長・発達(2)・・・身体と精神の成長・発達(2)老化を理解する ①身体と精神の成長・発達について(老年期)②老化について	
第3週： 身体機能と身体構造の概要(1)・・・人体部位の名称を説明できる各器官などの構造と機能(1)を理解する ①人体部位の名称(全身・骨)②各器官の構造と機能について	
第4週： .身体機能と身体構造の概要(2)・・・各器官などの構造と機能(2)を理解する ①血液の成分と機能について②循環器の構造と機能について	
第5週： 身体機能と身体構造の概要(3)・・・各器官などの構造と機能(3)を理解する ①呼吸器の構造と機能について②泌尿器の構造と機能について	
第6週： .身体機能と身体構造の概要(4)・・・各器官などの構造と機能(4)を理解する ①消化器の構造と機能について②神経系の構造と機能について	
第7週： .身体機能と身体構造の概要(5)・・・各器官などの構造と機能(5)を理解する ①内分泌系の構造と機能について②生殖器の構造と機能について	
第8週： .疾病と障害の概要(1)・・・疾病を理解する(1) ①生活習慣病について②悪性腫瘍について③脳血管疾患について④心疾患について ⑤高血圧について	

第9週： 疾病と障害の概要(2)・・・疾病を理解する(2) ①糖尿病と内分泌疾患について②呼吸器疾患について③消化器疾患について④血液疾患と膠原病について⑤腎臓疾患について		
第10週： .疾病と障害の概要(3)・・・疾病を理解する(3) ①泌尿器疾患について②骨・関節の疾患について③目・耳の疾患について④感染症について⑤神経疾患と難病について⑥先天性疾患について⑦その他、高齢者に多い疾患について		
第11週： .疾病と障害の概要(3)・・・障害を理解する(1) ①視覚障害について②聴覚障害について③平衡機能障害について④肢体の障害について⑤内部障害について		
第12週： .疾病と障害の概要(5)・・・障害を理解する(2)精神疾患の診断・統計マニュアル(DSM-IV)の概要を理解する ①知的障害について②発達障害について③認知症・高次脳機能障害について④精神障害について		
第13週： リハビリテーションの概要・・・リハビリテーションの概要と範囲を理解する ①リハビリテーションの定義・目的・対象・方法について		
第14週： .国際生活機能分類(ICF)の基本的な考え方・概要・・・国際生活機能分類(ICF)の基本的な考え方を理解する ①国際障害分類(ICIDH)から国際生活機能分類(ICF)への変遷②心身機能と身体構造、活動、参加の概念、環境因子と個人因子の概念③健康状態と生活機能低下の概念		
第15週： 健康のとらえ方・・・健康の概念を理解する ①WHOの憲章による健康の定義について、その他の定義について ②まとめの確認		
第16週： 期末試験 期末試験		
授業の運営方法	(1)授業の形式	
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。				
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	